

令和7年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	国語	学年	3	年	時間数	105	時間
----	----	----	---	---	-----	-----	----

教科書名	現代の国語3	出版社名	三省堂
------	--------	------	-----

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	豊かに想像する	言の森		◎	○	授業の概要 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めます。また、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てます。
			握手		◎	○	
			言葉発見① 敬語のはたらき	◎		○	
			グループディスカッション		◎	○	
	5	中間考査(5/13~5/14)	「批判的に読む」とは		◎	○	
			間の文化		◎	○	
	6	ものの方・感性を養う	課題作文		◎	○	
俳句の世界 俳句十句				◎	○		
批評文				◎	○		
7	期末考査(6/25~7/1)		◎	◎	○	学習の到達目標 ・ものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を身に付ける。 ・様々な材料を基に、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す能力を身に付けるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を身に付ける。	
		言葉発見② 和語・漢語・外来語 海を越えた故郷の味		◎	○		
		私の読書体験 言葉は傘		◎	○		
夏 季	8	夏季休業日(7/19~8/24)					・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を身に付ける。
二 学 期	9	論理的に考える	フロン規制の物語ー(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで		◎	○	評価の観点 知識・技能 伝統的な言語文化に触れたり、ことばの特徴やきまり、漢字などについて習得したりするとともに、その内容を既知の知識と関連させ理解を深めている。また、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。
			文法の窓 表現につながる文法		◎	○	
			パブリックスピーキング		◎	○	
			和歌の世界ー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集		◎	○	
	10	古典に学ぶ	おくのほそ道		◎	○	
			中間考査(10/7~10/8)		◎	◎	
			言葉発見③ 「言葉の現在・過去・未来」		◎	○	
11	情報を関係づける	論語		◎	○	思考・判断・表現 目的や意図に応じた様々な文章などを読み、既知の知識を活用して内容や要旨を的確にとらえたり、その真偽について判断したりしている。また、自らの考えや気持ちを、根拠を明確にして文章に書いたり、構成を工夫して話したりしている。	
		漢文の読み方 訓読の仕方の確認		◎	○		
		漢字一字 自分自身や社会を見つめる		◎	○		
12	期末考査(11/26~12/2)	マンガ 情報の扱い方 見たいものだけ見る私たち		◎	○	主体的に学習に取り組む態度 知識の習得や、読解力・表現力の向上のため、進んで学習に取り組むとともに、自らの学習活動を省みて、学習方法などについて試行錯誤を重ねている。また、読書に親しみ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとしている。	
		言葉発見4 慣用句・ことわざ・故事成語		◎	○		
		読みを深め合う	初恋		◎		○
冬 季		冬季休業日(12/20~1/7)					
三 学 期	1	故郷	読書活動 ブックトーク		◎	○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、主に、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト(漢字テスト)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			私とは何か		◎	○	
			坊っちゃん		◎	○	
	2	学年末考査(2/20~2/27)		◎	◎	備考	
3	名言集 中学校生活を振り返って		◎	○			

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	現代の国語	学年	4年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	-------	----	----	----	----	-----	---	----

教科書名	高等学校 現代の国語	出版社名	第一学習社
------	------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	現代の国語1	「生きもの」として生きる	◎		○	授業の概要 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を養います。
			「本当の自分」幻想		◎	○	
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○		
			羅生門		◎	○	
	6	現代の国語2	水の東西	◎		○	
		期末考査(6/25~7/1)		◎	○		
夏季	7	話して伝える	論理的な表現		○	◎	学習の到達目標 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
		夏季休業日(7/19~8/24)					
		9	現代の国語3	無彩色の色	◎		
	夢十夜			◎	○		
二学期	10	中間考査5年(9/30~10/3)		◎	○		
		中間考査4・6年(10/7~10/10)		◎	○		
	現代の国語4	現代の「世論操作」	◎		○		
	11		フェアな競争		◎	○	
		期末考査(11/26~12/2)		◎	○		
冬季	12	書いて伝える	地域の魅力を紹介する		○	◎	
		冬季休業日(12/20~1/7)					
三学期	1	現代の国語5	ロビンソンの人間と自然	◎		○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。
			城の崎にて		◎	○	
	2	学年末考査4・5年(2/20~2/27)		◎	○		
		話して伝える	スピーチで自分を伝える		○	◎	
							備考

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	言語文化	学年	4年	類型	共通	単位数	3	単位
----	----	----	------	----	----	----	----	-----	---	----

教科書名	高等学校 言語文化	出版社名	第一学習社
------	-----------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一学期	4	古文入門	児のそら寝	◎		○	授業の概要 上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深めます。	
		漢文入門	訓読に親しむ(一)(二)(三)	◎		○		
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○			
		歌物語	伊勢物語 芥川他		◎	○		
	6	故事成語	狐借虎威		◎	○		
		期末考査(6/25~7/1)		◎	○			
	7	漢詩	唐詩の世界		○	◎		学習の到達目標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
夏季休業日(7/19~8/24)								
二学期	9	日記	土佐日記		◎	○	評価の観点 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
		史伝	先従隗始		◎	○		
	中間考査5年(9/30~10/3)			◎	○			
	中間考査4・6年(10/7~10/10)			◎	○			
	10	史伝	臥薪嘗胆		◎	○		
		随筆(二)	徒然草		◎	○		
	11	期末考査(11/26~12/2)		◎	○			
古典の詩歌		万葉集・古今和歌集・新古今和歌集		○	◎	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
冬季休業日(12/20~1/7)								
三学期	1	思想	論語		◎	○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。	
		軍記物語	平家物語		◎	○		
	学年末考査4・5年(2/20~2/27)		◎	○				
	3	近現代の詩歌	自分の感受性くらい 他		○	◎		

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	論理国語	学年	5年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	精選 論理国語	出版社名	三省堂
------	---------	------	-----

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	一 論理国語へのいざない	論理力と思考力	○	◎		授業の概要 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要なとされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。 学習の到達目標 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
			情報の「メタ」化		○	◎	
	5	中間考査(5/13～5/16)			◎	○	
		二 「情報社会」を生きる I	ぬくみ			○ ◎	
	6		マルジャーナの知恵			○ ◎	
		期末考査(6/25～7/1)			◎	○	
	7	三 環境問題を考える	世代間倫理としての環境倫理学			○ ◎	
夏季休業日(7/19～8/24)							
二学期	9	四 言葉を見つめる I	記号を使う動物	○	◎		評価の観点 知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
		五 生命について考える	病気と科学			◎ ○	
	10	中間考査5年(9/30～10/3)			◎	○	
		中間考査4・6年(10/7～10/10)					
	11		ゲノム編集とiPS細胞			○ ◎	
		六 芸術について考える	ミロのヴィーナス			○ ◎	
	12		空白の意味			◎ ○	
期末考査(11/26～12/2)				◎	○		
三学期	1	七 科学技術と人間	「なぜ」に答えられない人間	○	◎		評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			AI時代の「人間」			◎ ○	
	2	八 「市民社会」について考える	「市民」のイメージ			○ ◎	
学年末考査4・5年(2/20～2/27)				◎	○		
3						備考	
		「である」と「する」こと			○ ◎		

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	論理国語	学年	5年	類型	理科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	精選 論理国語	出版社名	三省堂
------	---------	------	-----

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一学期	4	一 論理国語へのいざない	論理力と思考力	○	◎		授業の概要 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要なとされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。 学習の到達目標 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
			情報の「メタ」化	○	◎			
	5	中間考査(5/13～5/16)			◎	○		
		二 「情報社会」を生きる I	ぬくみ			○		◎
	6		マルジャーナの知恵			○		◎
		期末考査(6/25～7/1)			◎	○		
	7	三 環境問題を考える	世代間倫理としての環境倫理学			○		◎
夏季休業日(7/19～8/24)								
二学期	9	四 言葉を見つめる I	記号を使う動物	○	◎		評価の観点 知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
		五 生命について考える	病気と科学			◎		○
	10	中間考査5年(9/30～10/3)			◎	○		
		中間考査4・6年(10/7～10/10)						
	11		ゲノム編集とiPS細胞			○		◎
		六 芸術について考える	ミロのヴィーナス			○		◎
	12		空白の意味					◎
期末考査(11/26～12/2)				◎	○			
冬季		学びを広げる 美術作品を紹介しよう				○	◎	
	冬季休業日(12/20～1/7)							
三学期	1	七 科学技術と人間	「なぜ」に答えられない人間	○	◎		評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。	
			AI時代の「人間」			◎		○
	2	八 「市民社会」について考える	「市民」のイメージ			○		◎
		学年末考査4・5年(2/20～2/27)			◎	○		
3		「である」と「する」こと			○	◎	備考	

令和7年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	文学国語	学年	5 年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	-----	-----	---	----

教科書名	高等学校 文学国語	出版社名	第一学習社
------	-----------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	近代の小説(一)	山月記	○	◎		授 業 の 概 要 近代以降の文学的文章、たとえば、小説、詩、随想等の作品に取り組むことで、深く共感したり豊かに想像する力や、創造的に考える力を伸ばします。
	5	中間考査(5/13~5/16)	檸檬				
	6						
	7	近代の詩	永訣の朝				
	8	夏季休業日(7/19~8/24)					
二 学 期	9	現代の小説(一)	旅する本	◎	○		学 習 の 到 達 目 標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
		期末考査(6/25~7/1)					
	10	随想(一)(芸術)	花のいざない				
	11		真珠の耳飾りの少女				
	12	近代の小説(二)	こころ				
		冬季休業日(12/20~1/7)					
	1		こころ				
	2	学年末考査4・5年(2/20~2/27)					
	3	戦争と文学(一)	バグダッドの靴磨き				

令和7年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	古典探究	学年	5 年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	-----	-----	---	----

教科書名	高等学校 精選 古典探究	出版社名	第一学習社
------	--------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単元	内容	知	思	主		
一 学 期	4	説話(一)	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	○	◎		授 業 の 概 要 古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。	
		故事・寓話	孫子「呉越同舟」	◎	○			
			韓非子「嬰逆鱗」		◎	○		
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○			
		随筆(一)	方丈記「安元の大火」	○		◎		
	6	古代の史話	十八史略「鶏鳴狗盗」		◎	○		
			言語活動 読み比べ「読孟嘗君伝」		◎	○		
夏 季	7	期末考査(6/25~7/1)		◎	○	学 習 の 到 達 目 標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
		物語(一)	伊勢物語「初冠」	○			◎	
	8	夏季休業日(7/19~8/24)						
二 学 期	9	名家の文章	雑説	◎	○		評 価 の 観 点 知 識 ・ 技 能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
		随筆(二)	枕草子「二月つごもりごろに」	○	◎			
		中間考査5年(9/30~10/3)		◎	○			
		中間考査4・6年(10/7~10/10)						
	10	項羽と劉邦	史記「鴻門之会」「四面楚歌」			◎		○
	11	物語(二)	源氏物語「光る君誕生」	○	◎			
		言語活動 『源氏物語』と政治		○	◎			
冬 季	12	期末考査(11/26~12/2)		◎	○	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
		漢詩の鑑賞	中国の詩	◎	○			
		冬季休業日(12/20~1/7)						
三 学 期	1	日記(一)	更級日記「門出」		◎	○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。	
		不思議な世界	搜神記「蟻王」	◎		○		
	2	和歌・俳諧	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	○	◎			
		学年末考査4・5年(2/20~2/27)		◎	○			
3		諸家の思想	孟子「性善」		○	◎	備 考	

令和7年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	古典探究	学年	5 年	類型	理科系	単位数	3	単位
----	----	----	------	----	-----	----	-----	-----	---	----

教科書名	高等学校 精選 古典探究	出版社名	第一学習社
------	--------------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単 元	内 容	知	思	主		
一 学 期	4	説話(一)	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」	○	◎		授 業 の 概 要 古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。	
		故事・寓話	孫子「呉越同舟」	◎	○			
			韓非子「嬰逆鱗」		◎	○		
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○			
		随筆(一)	方丈記「安元の大火」	○		◎		
	6	古代の史話	十八史略「鶏鳴狗盗」「背水之陣」		◎	○		
			言語活動 読み比べ「読孟嘗君伝」		◎	○		
夏 季	7	期末考査(6/25~7/1)		◎	○	学 習 の 到 達 目 標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
		物語(一)	伊勢物語「初冠」	○			◎	
	8	夏季休業日(7/19~8/24)						
二 学 期	9	名家の文章	雑説	◎	○		評 価 の 観 点 知 識 ・ 技 能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
		随筆(二)	枕草子「二月つごもりごろに」	○	◎			
		中間考査5年(9/30~10/3)		◎	○			
		中間考査4・6年(10/7~10/10)						
	10	項羽と劉邦	史記「鴻門之会」「四面楚歌」			◎		○
						◎		○
	11	物語(二)	源氏物語「光る君誕生」	○	◎			◎
12		言語活動 『源氏物語』と政治		○	◎			
		期末考査(11/26~12/2)		◎	○			
		漢詩の鑑賞	中国の詩・日本の詩	◎	○			
冬 季		冬季休業日(12/20~1/7)						
三 学 期	1	日記(一)	更級日記「門出」		◎	○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。	
		不思議な世界	搜神記「蟻王」	◎		○		
	2	和歌・俳諧	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集・春夏秋冬	○	◎			
		学年末考査4・5年(2/20~2/27)		◎	○			
3	諸家の思想	孟子「性善」他		○	◎	備 考		

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	論理国語	学年	6年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	精選 論理国語	出版社名	三省堂
------	---------	------	-----

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	一 「情報社会」を生きるⅡ	情報ネットワーク社会を生きる		○	◎	授 業 の 概 要 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要なとされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。
			流言とメディア		○	◎	
	5	中間考査(5/13～5/16)			◎	○	
		二 言葉を見つめるⅡ	「対話」の言葉を作る		◎	○	
	6	三 共存社会を創造する	講演 持続可能な福祉社会への道		○	◎	
		期末考査(6/25～7/1)			◎	○	
	7	三 共存社会を創造する	母親のための酸素マスク			○ ◎	
夏季休業日(7/19～8/24)							
夏 季	8					・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。	
二 学 期	9	四 経済について考える	「欲望」と資本主義	○	◎		評 価 の 観 点 知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		五 国際社会を考える	スポーツとナショナリズム			◎ ○	
	10	中間考査5年(9/30～10/3)			◎	○	
		中間考査4・6年(10/7～10/10)			◎	○	
	11		南の貧困／北の貧困			◎ ○	
		六 心と向き合う	恐怖とは何か		○	◎	
	12	七 「リスク社会」を生きる	リスク社会論	○	◎		
冬 季	12	期末考査(11/26～12/2)		◎	○	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
			学びを広げる「リスク社会」について考察する				○ ◎
三 学 期	1	八 近代・現代社会を考える	コンクリートの時代		◎	○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			学問のすすめ		○	◎	
	2		家庭学習		○	◎	
					○	◎	
	3				○	◎	
							備 考

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	論理国語	学年	6年	類型	理科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	精選 論理国語	出版社名	三省堂
------	---------	------	-----

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	一 「情報社会」を生きるⅡ	情報ネットワーク社会を生きる		○	◎	授 業 の 概 要 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要なとされる実用的な文章の構成や展開のしかたを、論理的に分析したり、内容を批判的に検討したりする活動を通じて、論理的、批判的な思考力と判断力を伸ばし、自分の考えを筋道立てて伝えられる表現力を養います。
			流言とメディア		○	◎	
	5	中間考査(5/13~5/16)			◎	○	
		二 言葉を見つめるⅡ	「対話」の言葉を作る		◎	○	
	6	三 共存社会を創造する	講演 持続可能な福祉社会への道		○	◎	
		期末考査(6/25~7/1)			◎	○	
	夏 季	7	三 共存社会を創造する	母親のための酸素マスク		○	
8		夏季休業日(7/19~8/24)					
9		四 経済について考える	「欲望」と資本主義	○	◎		
二 学 期	9	五 国際社会を考える	スポーツとナショナリズム		◎	○	評 価 の 観 点 知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		中間考査5年(9/30~10/3)			◎	○	
	10	中間考査4・6年(10/7~10/10)			◎	○	
		南の貧困／北の貧困			◎	○	
	11	六 心と向き合う	恐怖とは何か	○	◎		
		七 「リスク社会」を生きる	リスク社会論	○	◎		
	12	期末考査(11/26~12/2)			◎	○	
学びを広げる「リスク社会」について考察する				○	◎		
冬 季		冬季休業日(12/20~1/7)					
三 学 期	1	八 近代・現代社会を考える	コンクリートの時代		◎	○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			学問のすすめ		○	◎	
	2	家庭学習		○	◎		
	3			○	◎	備 考	

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	古典探究	学年	6年	類型	文科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	高等学校 精選 古典探究	出版社名	第一学習社
------	--------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	説話(二)	発心集「観実、路頭の病者を憐れむ事」	○	◎		授業の概要 古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。
		逸話	説苑「不顧後患」 列子「不死之道」		◎	○	
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○		
		随筆(三)	枕草子「宮に初めて参りたるころ」	○		◎	
	6	漢詩の鑑賞	古体の詩	○	◎		
		言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』			◎	○	
	7	期末考査(6/25~7/1)		◎	○		
夏季	8	物語(四)	源氏物語「夕顔」	○	◎		学習の到達目標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。
		夏季休業日(7/19~8/24)					
	9	諸家の文章	売柑者言		◎	○	
二学期	9	評論(一)	俊頼髓脳「歌のよしあし」	○	◎		評価の観点 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 思考・判断・表現 「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		中間考査5年(9/30~10/3)		◎	○		
	10	中間考査4・6年(10/7~10/10)		◎	○		
	史記の群像	「管鮑之交」「荊軻」		◎	○		
	11	物語(五)	大鏡「三舟の才」	○	◎		
		言語活動 菅原道真の左遷の真相			○	◎	
	12	期末考査(11/26~12/2)		◎	○		
冬季	12	評論(二)	玉勝間「兼好法師が詞のあげつらひ」	◎	○		主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
		冬季休業日(12/20~1/7)					
三学期	1	日記(二)	とはずがたり「秘密の出産」	○	◎		評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		物語(六)	堤中納言物語「はいづみ」	○		◎	
	2	家庭学習		○	○	◎	
				○	○	◎	
	3			○	○	◎	
							備考

令和7年度
シラバス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	国語	科目	古典探究	学年	6年	類型	理科系	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	----	----	-----	-----	---	----

教科書名	高等学校 精選 古典探究	出版社名	第一学習社
------	--------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	説話(二)	発心集「叡実、路頭の病者を憐れむ事」	○	◎		授業の概要 古文や漢文の古典作品を読むことで、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典に表れたものの見方や考え方を通して、自分の考えを広げ、想像力を豊かにします。
		逸話	説苑「不顧後患」 列子「不死之道」		◎	○	
	5	中間考査(5/13~5/16)		◎	○		
		随筆(三)	枕草子「宮に初めて参りたるころ」	○		◎	
	6	漢詩の鑑賞	古体の詩	○	◎		
		言語活動 『源氏物語』と『白氏文集』			◎	○	
	7	期末考査(6/25~7/1)		◎	○		
夏季	7	物語(四)	源氏物語「夕顔」	○	◎		学習の到達目標 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。
	8	夏季休業日(7/19~8/24)					
	9	諸家の文章	売柑者言		◎	○	
二学期	9	評論(一)	俊頼髓脳「歌のよしあし」	○	◎		評価の観点 知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 思考・判断・表現 「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
		中間考査5年(9/30~10/3)		◎	○		
	10	中間考査4・6年(10/7~10/10)		◎	○		
	10	史記の群像	「管鮑之交」「荊軻」		◎	○	
	11	物語(五)	大鏡「三舟の才」	○	◎		
		言語活動 菅原道真の左遷の真相			○	◎	
	12	期末考査(11/26~12/2)		◎	○		
冬季	12	評論(二)	玉勝間「兼好法師が詞のあげつらひ」	◎	○		主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
	12	冬季休業日(12/20~1/7)					
三学期	1	日記(二)	とはずがたり「秘密の出産」	○	◎		評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、「授業への積極的取組(出席、態度、行動の様子)」、「定期考査」、「課題提出状況(週末課題、長期休業課題、授業ノート)」、「小テスト」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		物語(六)	堤中納言物語「はいづみ」	○		◎	
	2	家庭学習		○	○	◎	
				○	○	◎	
	3			○	○	◎	
							備考